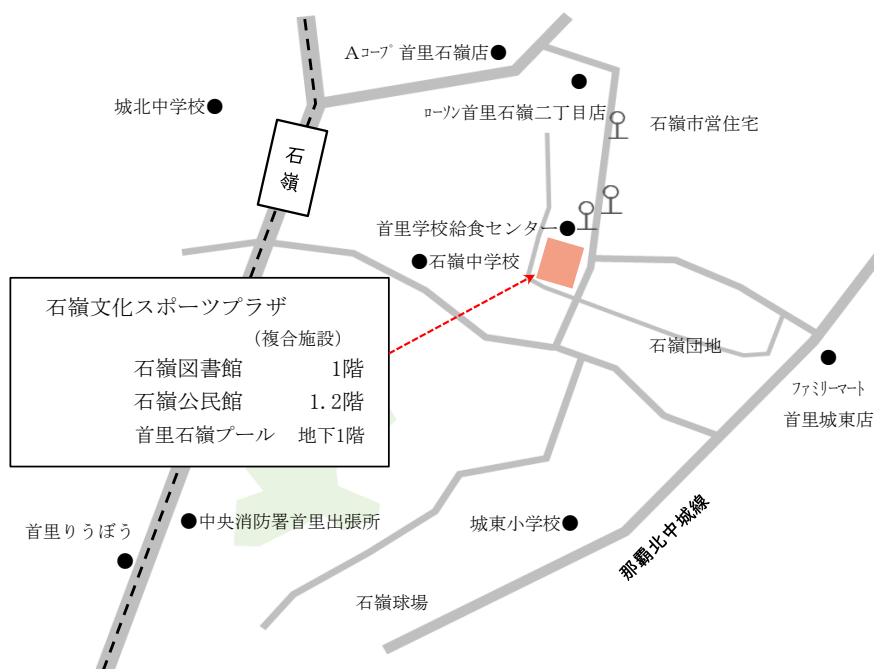


石 嶺 公 民 館



〒903-0804 那覇市首里石嶺町 2-70-9

TEL 917-3447 FAX 835-5102

(URL)

<https://www.city.naha.okinawa.jp/>

[kurasitetuduki/sankaku-kyoudou/](https://www.kurasitetuduki/sankaku-kyoudou/)

[1002706/1004745/1004813/index.html](https://www.kurasitetuduki/sankaku-kyoudou/1002706/1004745/1004813/index.html)

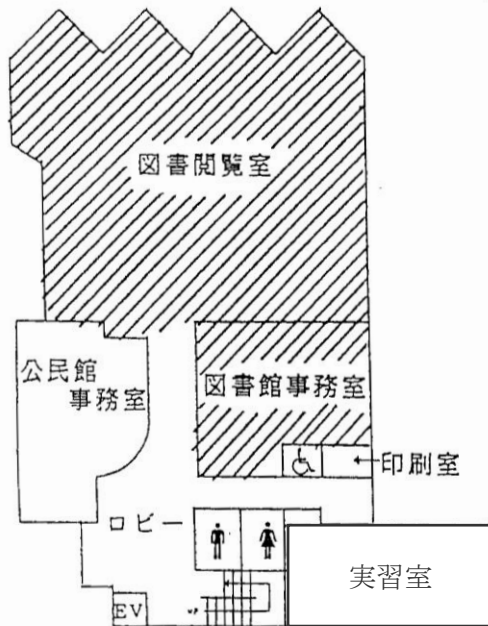


石嶺公民館 HP

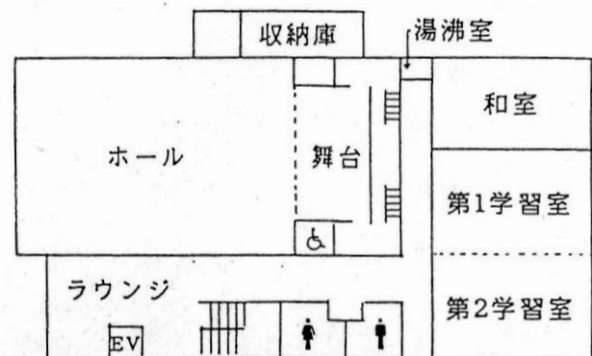
利用施設のご案内

〈石嶺公民館平面図〉

◆ 1 階



◆ 2 階



部 屋 名	利用可能人数	用 途 (備 品)
ホ ー ル	200人程度	講演会・発表会・音楽会・映写会・レク体操・踊り・祭り・展示会等 (ピアノ・テーブル・イス等)
第1学習室	30人程度	会議・研修会・学習会・展示会等・映写会・お話し会(読み聞かせ)・玩具づくり・レクスポーツ等 (イス・テーブル・白板)
第2学習室	併用可 30人程度	
実 習 室	25人程度	調理実習・その他実習(イス・テーブル・調理用器具)
和 室	25人程度	お茶・生け花・ヨガ・健康体操等

I 石嶺公民館の沿革

「首里北地区に公民館・図書館を」という地域の人々の要請を受け、「社会教育施設整備計画」に基づく6番目の公民館として計画された当施設は、那覇市初の社会教育施設（公民館・図書館）と社会体育施設（温水プール・トレーニングルーム）の複合施設として、平成7年1月13日建設に着手、翌年8年3月15日に竣工した。地下1階、地上2階の建物で地下にプール・トレーニングルーム、1階に図書館・公民館、2階に公民館の学習施設が配置されている。

建設にあたっては2回の地域住民説明会を経て、地下水・深夜電力の利用等省エネルギーシステムの導入、地域環境づくりを考慮した緑地帯の確保、明るく開放的デザイン、出入口へのスロープ設置など幼児から高齢者、身体の不自由な方々まで誰もが利用しやすく、親しみやすい施設となるよう様々な配慮がなされている。

平成7年10月1日	石嶺公民館の発足に伴い、主査 前原信喜が発令された。
平成8年4月1日	館長 前原信喜が発令された。
6月1日	石嶺公民館、石嶺図書館、首里石嶺プール（愛称：石嶺文化スポーツプラザ）の開館式が行われた。
6月3日	利用団体・サークル等への公民館施設の提供が開始された。
7月15日～21日	開館を記念して「石嶺町文化まつり」（石嶺町文化まつり実行委員会主催）が開催された。
12月13日	石嶺公民館利用団体連絡会が発足した。
平成9年3月8・9日	第1回石嶺公民館まつりが開催された。
平成12年4月1日	館長 前原信喜配置換えにより、館長 仲田恵司が発令された。
10月23日	第53回優良公民館文部大臣表彰を受賞。
12月10日	優良公民館文部大臣表彰受賞祝賀会が開催された。
平成15年4月1日	館長 仲田恵司配置換えにより、館長 宮良毅が発令された。
平成16年4月1日	館長 宮良毅退職に伴い、館長 高里洋介が発令された。
平成17年1月27日	那覇市教育委員会石嶺公民館は沖縄県那覇警察署長より感謝状を表彰された。
平成17年4月1日	社会教育指導員1減
平成17年5月29日	石嶺公民館開館10周年記念チャリティーコンサートが行われた。
平成17年11月6日	石嶺公民館開館10周年記念講演会「琉球王国とアジアの交流」が行われた。
平成17年12月10日	石嶺公民館開館10周年記念式典・祝賀会が行われた。
平成18年4月1日	社会教育指導員1増
平成19年4月1日	館長 高里洋介配置換えに伴い、館長 下地敏雄が発令された。
平成20年4月1日	社会教育指導員1減
平成21年4月1日	館長 下地敏雄配置換えに伴い、館長 島袋和美が発令された。
平成26年4月1日	館長 島袋和美配置換えに伴い、館長 下地敏雄が発令された。
平成29年2月26日	石嶺公民館開館20周年記念式典・祝賀会が行われた。
平成29年4月1日	館長 下地敏雄退職に伴い、館長 島袋和美が発令された。
平成30年4月1日	館長 島袋和美退職に伴い、館長 真境名元作が発令された。
平成31年4月1日	館長 真境名元作配置換えに伴い、館長 奥濱真が発令された。
令和2年4月1日	館長 奥濱真配置換えに伴い、館長 前城一太郎が発令された。
令和5年4月1日	館長 前城一太郎配置換えに伴い、館長 大城義智が発令された。

令和7年4月1日 館長 大城義智退職に伴い、館長 富名腰史之が発令された。
令和8年4月1日 館長 富名腰史之配置換えに伴い、館長 山城裕子が発令された。

Ⅱ 令和7年度石嶺公民館事業目次

1	学習風景（写真）	1 3 7
2	成人一般対象事業	
	〔1〕 市民講座	
	◇石嶺と沖縄戦	1 3 8
	◇沖縄戦と沖縄の文化財～失われたもの・取り戻しているもの～	1 3 9
	◇ディスコダンスエクササイズでストレス解消！	1 4 0
	◇お笑い芸人「オリオンリーグ」の苦手をポジティブに変える コミュニケーションワークショップ	1 4 1
	〔2〕 成人講座	
	◇懐かしい昭和の歌を唄おう	1 4 2
	◇ココロとカラダ軽やかに楽々ウォーキング	1 4 3
3	高齢者対象事業	
	〔1〕 高齢者学級	
	◇スマホデビューからもう一步	1 4 4
	◇アンドロイドを楽しく使おう	1 4 5
	◇ふくらしや&守礼大学大学院「古の首里を訪ねる」	1 4 6
	◇わくわくスマホ体験講座	1 4 7
4	青少年対象事業	
	〔1〕 少年教室	
	◇災害避難所宿泊体験 in 石嶺文化スポーツプラザ	1 4 8
	〔2〕 親子ふれあい教室	
	◇親子で囲碁体験教室	1 4 9
	◇親子で楽しくムービー作り	1 5 0
5	家庭教育事業	
	〔1〕 家庭教育学級	
	◇親子で作る夏の和菓子づくり	1 5 1
	〔2〕 乳幼児学級	
	◇すくすくひろば	1 5 2
6	その他の事業	
	〔1〕 地域連携事業	
	◇こどもの居場所づくり「フェルトを使った作品づくり」	1 5 3
	◇こどもの居場所づくり「夏休み子ども教室～子どもダンスひろば～」	1 5 4
	◇こどもの居場所づくり「夏休み子ども教室～子ども絵画のひろば～」	1 5 5
	◇こどもの居場所づくり「夏休みニュースポーツ石嶺教室」	1 5 6
	◇こどもの居場所づくり「公民館職員とのふれあい広場」	1 5 7
	◇防災講座「炊き出し体験」	1 5 8

◇新春もちつき交流会	1 5 9
◇薬物乱用防止講演会	1 6 0
◇防災講座「防災まちあるき」と「防災と気候変動」	1 6 1
〔2〕地域学習支援講師派遣事業	
◇地域学習支援講師派遣事業	1 6 2

7 公民館まつり

◇第30回石嶺公民館まつり	1 6 3
---------------	-------

1 学習風景



高齢者学級
「ふくらしや大学」



乳幼児学級
「すくすくひろば」



子どもの居場所
「子ども絵画のひろば」



少年教室
「災害避難所宿泊体験
in 石嶺文化スポーツプラザ」



成人講座
「懐かしい昭和の歌を歌おう」



市民講座
「ディスコダンスエクササイズでストレス解消！」

2 成人一般対象事業

〔1〕市民講座

講座名 タイトル		石嶺と沖縄戦								
事業概要		沖縄戦において石嶺地域戦争体験者の方から「北部へ疎開した体験談」と「石嶺慰霊祭」について講話を聴く。								
現状・課題		戦争体験者の語り部が少なくなり、戦争を知らない世代へ平和について考えるきっかけをつくり、戦後80年の節目を迎え、地域にある慰霊碑の歴史を知る機会にする。								
事業目的 めざす姿		6月23日に行われる地域の慰霊祭について知る機会とし、戦後80年の節目に平和学習の充実を図る。								
対 象		那覇市在・在勤・在学の人								
募集人数等		定員：30人 申込：47人（うち受講決定数47人） 参加延べ人数：47人 【申込率157%・参加率100%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	子ども
	01	6月21日（土）	10:00	～	12:00	石嶺公民館ホール	47	24	23	0
内容	01	講話①北部疎開体験談 講話②石嶺町慰霊祭								
講 師	金城真徳（北翔会顧問）									
【受講生の様子・感想】										
受講生の声 ・「語り部の方は思い出したくない記憶を語って頂いてありがとう。」 受講生は語り部の話に引き込まれ、あっという間の講話となった。質疑応答も多かった。										
【成果】										
6月23日に行われる「地域の慰霊祭」について知る機会になった。40年石嶺に住んでいる方でも「地域の慰霊祭」は知らない方が多かった。戦後80年の節目に平和学習と地域の歴史を知る機会になり、平和学習の充実に繋がった。										







2 成人一般対象事業

〔1〕市民講座

講座名 タイトル		沖縄戦と沖縄の文化財～失われたもの・取り戻しているもの～								
事業概要		80年前の沖縄戦では多くの尊い命だけではなく、琉球王国時代から継承されてきた多くの貴重な文化財も失われた。現在も継続して失われた文化財を取り戻す様々な取り組みが進められている。本講座は沖縄戦と沖縄の文化財の係わりを中心としながら平和を考える機会とする。								
現状・課題		戦争体験者の語り部が年々減少していく中で、継承して平和学習を行う必要がある。								
事業目的 めざす姿		講座を通して、平和学習の継承と地域の歴史に関心をもってもらい、平和について考える機会を増やしていく。地域の慰霊祭に参加することで、さらに学びを深められると考える。								
対 象		那覇市在住・在勤・在学の人								
募集人数等		定員：30人 申込：30人（うち受講決定数30人） 参加延べ人数：30人 【申込率100%・参加率100%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	子ども
	01	6月28日（土）	10:00	～	12:00	石嶺公民館ホール	30	13	17	0
内容	01	講話①沖縄戦の背景 講話②沖縄の文化財 講話③戦災文化財～取り戻す取り組み								
講 師		崎原 恭子（沖縄県立博物館美術館 主任学芸員）								
【受講生の様子・感想】 ・受講生の声：平和学習は6月だけではなく公民館で常設展示なども取り入れた講座を継続してほしい。 ・アンケート結果（満足度）100%										
【成果】 「6月に限らず年間を通して沖縄戦に関する講座を受けてみたい」との声が多く聞かれた。平和学習の継承と平和について考える機会を増やしていく目的は達成できたと思う。地域の慰霊祭について知る機会になり、平和学習だけではなく、地域の歴史を学ぶことへと繋がった。										





2 成人一般対象事業

〔1〕市民講座

講座名 タイトル		ディスコダンスエクササイズでストレス解消！								
事業概要		70年～80年代の懐かしいディスコサウンドにのせて、簡単なステップで体を動かすフィットネス。日々の運動不足解消と脳の活性化で、健康的な体づくりを目指す。								
現状・課題		運動不足が引き起こすリスクとして、生活習慣病や認知症等があるが、時間がなかったり、面倒だったという理由で、後回しにする傾向がある。								
事業目的 めざす姿		好きな音楽を聴きながら、週1回体を動かすことで、運動不足解消をめざし、その後も継続して運動を続けていく時間を習慣にすることを目的とする。								
対 象		那覇市在住・在勤・在学の人								
募集人数等		定員：20人 申込：34人（うち受講決定数34人） 参加延べ人数：103人 【申込率170%・参加率76%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	子ども
	01	8月27日(水)	13:00	～	15:00	石嶺公民館	30	2	28	0
	02	9月3日(水)	13:00	～	15:00	石嶺公民館	24	1	23	0
	03	9月10日(水)	13:00	～	15:00	石嶺公民館	25	1	24	0
	04	9月17日(水)	13:00	～	15:00	石嶺公民館	24	1	23	0
内 容	01	柔軟体操								
	02	曲に合わせて振付を覚える								
	03	曲に合わせて踊る								
	04	クールダウン体操								
講 師		上原京子（プライマリ（PC）認定・DISCO WORLD インストラクター）								
【受講生の様子・感想】										
・受講生の声 ※やっと受講したかった講座だったので、嬉しかったです。とても楽しい時間でした。 ※講師の方の教え方が丁寧で、楽しく参加できました。 ・アンケート結果（満足度）100%										
【成果】										
・2時間という時間をしっかり運動したことで、運動不足解消ができたと思う。また、今後も続けていきたいという声も上がった。 ・申込者多数となり、講師との調整で全員の受講を決定した。 ・受講者の約3分の1の方がサークル化した場合、参加を希望するという意見があったため、サークル化へ向けて調整を行い、現在は定期利用団として活動している。										







2 成人一般対象事業

〔1〕市民講座

講座名 タイトル		お笑い芸人「オリオンリーグ」の苦手をポジティブに変えるコミュニケーションワークショップ								
事業概要		参加者同士の交流を深め、相互理解を促進し、コミュニケーション能力を向上させる学習。								
現状・課題		近年の働き方の変化により、対面機会の減少に伴い、情報共有の不足や世代間ギャップ、そしてコミュニケーション力の低下が課題となっている。								
事業目的 めざす姿		笑いと共に深めるコミュニケーションスキルのワークショップで、参加者同士の交流を深め、相互理解を促進し、コミュニケーション能力の向上を目指す。								
対象		那覇市在住・在勤・在学の人								
募集人数等		定員：20人 申込：21人（うち受講決定数21人） 参加延べ人数：17人 【申込率105%・参加率81%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	子ども
	01	9月27日(土)	13:30	～	15:30	石嶺公民館	17	6	11	0
内容	01	①オリエンテーション ②エピソード作成 ③発表とフィードバック ④全体発表 ⑤質疑応答・まとめ								
講師		オリオンリーグ（吉本興業所属）								
【受講生の様子・感想】 ・受講生の声・様子 ※受講して吸収できる話が聞けてためになった。笑いをテーマにしたものが特徴的であり生かされると幸いです。 ※お笑い芸人講師だったので、場の雰囲気がとても良く、楽しかったです。参加して良かったです。 ・アンケート結果（満足度）93.8%										
【成果】 ・グループワークで、互いの意見交換を行い、相互の理解を深める時間ができた。 ・なは市民の友での広報と、那覇市のSNSでの広報を行った。 ・対象は一般市民対象であったが、40～50代の成人層の参加が多かった。 ・お笑いをきっかけに、コミュニケーション能力向上の学習ができた。										







2 成人一般対象事業

〔2〕成人講座

講座名 タイトル		懐かしい昭和の歌を唄おう								
事業概要		声を出して元気よく歌を唄うことは、体にとってとても良いことです！正しい発声法等を学習しながら、懐かしい昭和の歌を曲を、一緒に楽しく唄いましょう！								
現状・課題		日頃の運動不足とストレスの解消法のひとつに、歌を唄うことで、心と身体の健康維持につながる。								
事業目的 めざす姿		昭和の歌とともに、曲にまつわる思い出を思い出すことで、脳の活性化を促し、声を出して唄うことで、肺の活動を促進し、健康的な心と体を目指す。								
対 象		那覇市在住・在勤・在学の18才以上の人								
募集人数等		定員：30人 申込：46人（うち受講決定数46人） 参加延べ人数：74人 【申込率153%・参加率80%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	子ども
	01	5月2日(金)	10:00	～	12:00	石嶺公民館	39	11	28	0
	02	5月9日(金)	10:00	～	12:00	石嶺公民館	35	12	23	0
内容	01 ～ 02	①軽く体を動かす ②発声練習 ③生キーボード演奏に合わせて昭和の唄を歌唱								
講 師		池村 真弓（歌ごえサークル講師）								
【受講生の様子・感想】 ・受講生の声・様子 ※なかなかみんなと唄うことがないので、とても楽しく、またの機会をよろしく願います。 ※2回は少ない。4回してほしい。 ・アンケート結果（満足度）100%										
【成果】 ・参加者同士の相互作用を引き起こし、大きな声で歌を唄うことができ、代謝を促し心身ともに健康的な活動ができた。 ・市民の友への掲載により、申込が多かった。 ・成人講座ではあったが、高齢者の参加者が多かった。 ・歌を歌うことで、健康維持を目指すことは達成できたが、2回講座が少なかったという声があったことから、今後の企画の参考になった。										







2 成人一般対象事業

〔2〕成人講座

講座名 タイトル		ココロとカラダ軽やかに楽々ウォーキング								
事業概要		正しい歩き方の習得と、楽しく継続的に歩くための実践で、健康的なウォーキングライフを目指す。								
現状・課題		多くの日本人が運動習慣を持たず、「運動不足」を自覚している。特に、働き盛りの成人世代が、生活習慣病関連で深刻化している。そのため、継続的に誰でも簡単に行える運動が求められる。								
事業目的 めざす姿		ウォーキングは誰でも手軽に始められる運動で、脂肪燃焼や生活習慣病のリスクを抑え、健康的なウォーキングライフを目指す。								
対 象		那覇市在住・在勤・在学の18歳以上で、医師から運動制限を受けていない人								
募集人数等		定員：20人 申込：25人（うち受講決定数21人） 参加延べ人数：48人 【申込率125%・参加率76%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	子ども
	01	1月17日(土)	9:30	～	11:30	石嶺公民館	20	2	18	0
	02	2月7日(土)	9:30	～	11:30	石嶺地域	14	2	12	0
	03	2月14日(土)	9:30	～	11:30	新都心公園	14	2	12	0
内容	01	健康チェック・ウォーキングエクササイズ・リズムウォーキング								
	02	石嶺地域ウォーキング								
	03	新都心公園ウォーキング								
講 師		高良 順子（健康運動指導士）								
【受講生の様子・感想】 ・受講生の声・様子 ※他の人とのコミュニケーションや、正しい歩き方などを学んだ事、講師のわかりやすい説明がよかった。 ※運動不足だったので、歩くきっかけになりそう・・・いいえ歩きます。 ・アンケート結果（満足度）92.8%										
【成果】 ・ウォーキングを生活の一部にすることを促し、楽しく継続的に行うための学習ができた。 ・広報は市民の友及びホームページに掲載し、申込も電話やオンラインでの受付を行い、定員以上の方の申込があった。 ・受講者は各々続けていきたいという感想が多く、健康意識を高められたと思う。										







3 高齢者対象事業

〔1〕高齢者学級

講座名 タイトル		スマホデビューからもう一歩								
事業概要		スマホの基本操作の学習と、生活・趣味に役立つアプリを実際に使ってみることで、スマホの便利さと楽しさを体験する。								
現状・課題		デジタル技術の進歩に伴い、年齢層による情報格差が生じている。また、スマホの使い方を家庭で共有することもできない高齢者も少なくない。								
事業目的 めざす姿		スマホが日々の生活において、とても便利であることを発見し、他者とのコミュニケーションのツールのひとつとして、楽しみながら使えることを目指す。								
対 象		那覇市在住・在勤の60歳以上								
募集人数等		定員：20人 申込：18人（うち受講決定数18人） 参加延べ人数：18人 【申込率90%・参加率100%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	子ども
	01	6月20日(金)	10:00	～	12:00	石嶺公民館	18	2	16	0
内容	01	①防災について ②ラインの使い方								
講 師	ソフトバンク株式会社 スマホアドバイザー（1人）、サポートスタッフ（3人）									
【受講生の様子・感想】 ・受講生の声・様子 ※QRコードの使い方を教えていただき、とても良かったです。防災も初めてで、とても良かった。 ※いつになっても使いこなせない中、少しはステップアップできたかなと感じました。感謝です。 ・アンケート結果（満足度）78.6%										
【成果】 ・体験講座はどうしても興味を向けるため手段であり、習得するための内容ではないため、受講後の感想はなかなか厳しいものがある。 ・スマホに興味をもつ高齢者は多く、募集開始から即定員に達した。 ・1回のみ講座では、時間が足りないという感想が多かった。										







3 高齢者対象事業

〔1〕高齢者学級

講座名 タイトル		アンドロイドを楽しく使おう								
事業概要		デジタル技術の進歩に伴い、インターネットやスマートフォン等を利用できる人とできない人との間に生じる格差が広がっている。那覇市のDX推進計画では、デジタルを不得手とする市民に対して聴き類を司会こなすことができるよう取り組むことを挙げている。誰もがデジタルの恩恵を受け、デジタルリテラシーを身に着けるための入門編としての体験学習である。								
現状・課題		デジタル社会の中で、あらゆる情報入手や社会参加するためのツールの一つとして、スマートフォンが必要とされていふ。シニア世代が簡単に楽しくスマートフォンを使用することができるよう支援が重要である。								
事業目的 めざす姿		高齢者がデジタル社会にとり残されないよう、スマートフォンを楽しく活用することを目的とする。								
対 象		那覇市在住・在勤・在学の60歳以上								
募集人数等		定員：20人 申込：22人（うち受講決定数20人） 参加延べ人数：52人 【申込率110%・参加率87%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	子ども
	01	10月20日(月)	13:30	～	15:30	石嶺公民館	18	6	12	0
	02	10月22日(水)	13:30	～	15:30	石嶺公民館	17	6	11	0
	03	10月24日(金)	13:30	～	15:30	石嶺公民館	17	6	11	0
内容	01	・第1回（10/20）：基本操作・YouTube・LINE								
	02	・第2回（10/22）：カメラ・マップ・防災アプリ等								
	03	・第3回（10/24）：電話・ネット検索・Googleレンズ・スクリーンショット								
講 師		公益社団法人 那覇市シルバー人材センター								
【受講生の様子・感想】 ・受講生の声 ※今回のスマホ講座は学びが多く、日々の利用に活かしたいと思います。ありがとうございました。定期的に開催してほしいと思います。シルバー人材センターの方々、公民館職員の方感謝です。 ※1回では無理なので、また体験講座あったら、受けたいです。 ・アンケート結果（満足度）78.6%										
【成果】 ・体験型の講座だったことが、スマホ操作について学習したいという向上心を高めるきっかけ作りになったと思う。 ・先着順の受付がすぐ定員に達したことから、スマホ講座の参加希望者が多いことがうかがえる。 ・対象者 ・体験講座のため、すぐにスマホの操作を習得することは、厳しい。 ・何回か続けてほしいとの要望があった。										







3 高齢者対象事業

〔1〕 高齢者学級

講座名 タイトル		石嶺公民館・首里公民館共催企画（高齢者学級）ふくらしや&守礼大学大学院「古の首里を訪ねる」								
事業概要		王都首里にふさわしい御殿・殿内の屋敷跡や首里に多く存在する拝所の御嶽・自然の景観を活かした名勝地などを実際に歩いて観て廻り、健康的に楽しく学習する。								
現状・課題		首里城や玉陵といった世界遺産は、観光地として人気があり、観光ガイド等でも学習することができるが、首里一帯の御殿や殿内や御嶽を一通りまとめて学習する機会はあまりない。								
事業目的 めざす姿		首里地域にある歴史的建造物や名勝地などについて学習し、知見を深める。								
対 象		那覇市在住・在勤・在学の60歳以上								
募集人数等		定員：20人 申込：27人（うち受講決定数20人） 参加延べ人数：73人 【申込率135%・参加率91%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	子ども
	01	11月7日(金)	9:00	～	11:30	石嶺町	20	9	11	0
	02	11月14日(金)	9:00	～	11:30	末吉町	18	8	10	0
	03	11月21日(金)	9:00	～	11:30	汀良町・赤平町	19	8	11	0
	04	11月28日(金)	9:00	～	11:30	赤田町・崎山町他	16	8	8	0
内 容	01	・第1回（11/7） 開講式・石嶺町								
	02	・第2回（11/14） 末吉町								
	03	・第3回（11/21） 汀良町・赤平町								
	04	・第4回（11/28） 赤田町・崎山町・鳥堀町								
講 師	真喜志 清・屋嘉比 茂（講師及び助手） （特定非営利活動法人 那覇市街角ガイド）									
【受講生の様子・感想】 ・受講生の声・様子 ※今回素晴らしい講座をありがとうございました。資料作りも大変だったと思います。職員の皆様のご厚意を強く感じます。これを機会に首里の歴史をより深く学んでいければと思います。 ※首里地域を歩いて、講師の先生から説明をうけ大変勉強になりました。 ・アンケート結果（満足度）88.9%										
【成果】 ・首里地域を健康的に歩き、互いにコミュニケーションを取りながら学習することができた。 ・市民の友への掲載により申込者が定員を上回り、抽選となった。 ・最終日には受講者ひとりずつ感想を発表してもらい、今後も自身で学習していくという意見が多くあった。										





3 高齢者対象事業

〔1〕高齢者学級

講座名 タイトル		わくわくスマホ体験講座								
事業概要		スマホは持っているが、電話での使用のみという方のために、使えると便利な様々な機能について体験学習を行う。								
現状・課題		スマホを所有しているにもかかわらず、実際には電話での使用以外、活用していないという高齢者の方が多い現状がある。公的機関や病院など、ネットを介して手続きをする場が増えてきていることから、スマホ体験学習の支援が必要と考える。								
事業目的 めざす姿		高齢者が現在のネット社会から取り残されることのないように、スマホ学習の支援を行い、気軽に楽しく使えるようになることを目指す。								
対象		那覇市在住・在勤の60歳以上								
募集人数等		定員：20人 申込：24人（うち受講決定数21人） 参加延べ人数：35人 【申込率120%・参加率83%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	子ども
	01	3月6日(金)	10:00	～	12:00	石嶺公民館	21	5	16	0
	02	3月13日(金)	10:00	～	12:00	石嶺公民館	14	2	12	0
内容	01	LINE・防災								
	02	マップ・カメラ・スマホ決済								
講師		ソフトバンク株式会社（スマホアドバイザー）								
【受講生の様子・感想】 ・受講生の声・様子 ※新しい発見が多く、生きがいを見つけたようで、自分が楽しそうだと家族に喜ばれています。 ※自分の携帯（今使っている）で教えていただきたい。 ・アンケート結果（満足度）81.8%										
【成果】 ・体験講座という形で開催していたが、自身の持つスマホで学習したいという意見が多くみられた。 ・高齢者対象だと、なは市民の友の掲載は効果的であった。 ・アンケートの中には、講座を通してスマホが楽しいという意見もあったことが、多少前進できたと思う。										



4 青少年対象事業

〔1〕少年教室

講座名 タイトル		災害避難所宿泊体験in石嶺文化スポーツプラザ								
事業概要		石嶺公民館で災害避難所としての宿泊体験を行い、石嶺文化スポーツプラザの各施設（図書館・プール）と協力・活用したレクを行う。								
現状・課題		・実際に災害避難所での宿泊を体験している子は少ない。 ・公民館、図書館、市民プールを活用したことがない、こういった所か分からない人もいる。								
事業目的 めざす姿		災害時の避難所に指定されている石嶺公民館でリアルな宿泊体験を行い、日頃の防災意識の大切さを学ぶ。また、石嶺文化スポーツプラザの各施設（図書館・プール）と協力・活用したレクを絡め、身近な公共施設を知ってもらい、異年齢の交流を深めながら豊かな感性を育むことを目的とする。								
対 象		那覇市内の4年生から6年生で、現地集合解散の為、保護者の送迎が可能な人								
募集人数等		定員：15人 申込：15人（うち受講決定数15人） 参加延べ人数：15人 【申込率100%・参加率100%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	子ども
	01	10月11日(土)	14:00	～	15:15	石嶺公民館 第1・2学習室	15	7	8	0
	02	10月11日(土)	15:30	～	17:30	首里石嶺プール	15	7	8	0
	03	10月11日(土)	17:45	～	20:15	石嶺公民館 実習室・ホール	15	7	8	0
	04	10月11日(土)	20:15	～	21:30	石嶺図書館・公民館 ホール	15	7	8	0
	05	10月12日(日)	9:00	～	11:00	首里石嶺町周辺	15	7	8	0
内容	01	防災講座（テント張り・寝袋説明等）								
	02	プール講座（着替え・シャワー等含む）								
	03	夕食カレー作り・蝶々作り								
	04	夜の図書館・上映会								
	05	ふくらしや小学校（石嶺探訪 伊江御殿別邸庭園コース）								
講 師		源河北斗、友寄久美、那覇市社会教育指導員OB会、喜瀬乗英								
【受講生の様子・感想】										
・違う学校の新しい友達ができ楽しかった。 ・友達とテントを立てて、泊まって遊べて楽しかった。 ・ちょうちょを作って、パタパタ飛ばして楽しかった。 ・夜の図書館が楽しかった。 ・アンケート結果（満足度）100%										
【成果】										
・企画内容どおり災害時の指定避難所でリアルな宿泊体験（テント組立・寝袋就寝）を行い、日頃の防災意識の大切さを学び、石嶺文化スポーツプラザの各施設（図書館・プール）と協力・活用したレク（プール講座、夕食カレー作り、ちょうちょ作り、夜の図書館・上映会）を絡めることを上手く複合できた結果、子ども達の笑顔の溢れたとても貴重で楽しい体験になっている様子だった。 ・広報はスクリレを活用したおかげで近隣の学校を集めることができた。 ・子ども達からまた来年も行っていきたいと嬉しい声を頂くことができた。										







4 青少年対象事業

〔2〕親子ふれあい教室

講座名 タイトル		親子で囲碁体験教室								
事業概要		囲碁体験は、集中力が身につく、多くの選択肢から状況に応じた判断をすることなど、将来、物事を判断する練習にもなる。親子で囲碁を通じて様々な体験をすることで、親子間のコミュニケーションを深める機会とする。								
現状・課題		子どもたちは、スマホやゲーム、YouTube視聴など過ごす時間が多いと思われる。日々の生活で親子で会話をしたり、一緒に何かをすることが少なくなっている現状がある。								
事業目的 めざす姿		囲碁体験を通して、物事を判断する力を学び、子どもたちの生きる力の一助になればと思う。親子の共通の趣味として活かし、互いにコミュニケーションを深める機会を作る。								
対 象		那覇市内在住、在学の小学生とその保護者（祖父母も可）								
募集人数等		定員：15組 申込：10組（うち受講決定数10組） 参加延べ組数：10組 （23人） 【申込率67%・参加率100%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	子ども
	01	5月24日(土)	10:00	～	12:00	石嶺公民館ホール	23	4	6	13
内容	01	①囲碁のルールを学ぼう ②石取りゲーム ③囲碁の対局にチャレンジ								
講 師		安藤 和繁（日本棋院東京本院所属 5 段）								
【受講生の様子・感想】 ・アンケート：子どもと一緒に同じタイミングで初めての囲碁体験だった。子どものほうが頭が柔らかくて凄いなあと感じた。囲碁セットをもらったので家でも楽しみたい。 ・感想：囲碁対局の様子は、集中力、勝負がかかる緊張感が伝わり、一所懸命考えている親子の姿が印象的だった。										
【成果】 囲碁対局は、親子で一所懸命考えて勝負している様子を見ると、スマホやゲーム機相手ではなくて、親子で過ごすことができる時間を確保することになった。講座で終わらず、それぞれの場所で囲碁の学びを深め、親子間のコミュニケーションを充実させることへ繋がられる。										





4 青少年対象事業

〔2〕親子ふれあい教室

講座名 タイトル		親子で楽しくムーチャー作り								
事業概要		沖縄の伝統行事のムーチャーの由来を学び、親子でムーチャー作りを体験する。講座を通し、伝統行事の継承を図るとともに、親子のコミュニケーションを更に深め、よりよい親子関係の形成を目指す。								
現状・課題		近年、忙しい日々を送る家庭が多く、親子で一緒に何かをするという時間を確保しづらくなってきつつある。そこで、親子のコミュニケーションを取りながら、ひとつのことを成し遂げる時間を確保したい。								
事業目的 めざす姿		沖縄の伝統行事について学び、ムーチャー作りを通し、親子で協力しながら会話を楽しむ時間とする。								
対 象		那覇市在住・在学の小学生とその保護者（祖父母可）								
募集人数等		定員：8組 申込：13組（うち受講決定数8組） 参加延べ組数：8組 （15人） 【申込率163%・参加率100%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	子ども
	01	1月31日(土)	10:00	～	12:00	石嶺公民館	15	2	5	8
内容	01	①「ムーチャー」のことを学ぼう ②実際に作っていく ③蒸している間、石嶺図書館職員の読み聞かせ ④「ムーチャー」の出来上がり								
講 師	那覇市社会教育指導員0B会									
【受講生の様子・感想】 ・受講生の声・様子 ※普段家ではなかなかできない体験をさせてあげられた。 ※講師の方たちに手伝っていただいて、分かりやすく子ども達が楽しそうにしていた。 ・アンケート結果（満足度）100%（保護者）、100%（子）										
【成果】 ・親子で沖縄の伝統行事の体験を、会話を楽しみながら、ムーチャーを作り上げることができた。 ・なは市民の友やホームページでの広報により、オンラインでの申込もあり、申込者数は定員を上回る状況であった。 ・家でも作りたいとの意見もあった。 ・親子でひとつのことを協力しながら、達成する時間が確保できたし、親子のコミュニケーションも取れていたと思う。										







5 家庭教育事業

〔1〕家庭教育学級

講座名 タイトル		親子で作る夏の和菓子づくり								
事業概要		簡素化することで、家でも作れる「水ようかん」や「くずもち」の伝統的な和菓子の作り方を教えてもらう。日々の生活で親子で楽しく手作りの美味しさを楽しんでもらう。								
現状・課題		SNSやゲームなど個人でいる事が多い中、親子で過ごす時間が少なくなっている社会の現状がある。								
事業目的 めざす姿		親子で過ごす時間の確保、手段のひとつとして料理を作る時間を利用して親子間のコミュニケーションを深める一助とする。								
対象		那覇市在住・在学の小学生とその保護者（祖父母可）								
募集人数等		定員：15人 申込：15人（うち受講決定数25人） 参加延べ人数：25人 【申込率100%・参加率100%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	子ども
	01	8月16日(日)	10:00	～	12:00	石嶺公民館	25	2	9	14
内容	01	①親子2組×4人分の分量を1テーブルに2セット準備する。 ②準備された材料で2種類のお菓子を作る。 ③オープンレンジを使用している調理時間帯は講師の講和を聞く。								
講師		那覇市社会教育指導員OB会								
【受講生の様子・感想】 ・アンケート：作ったことのない和菓子づくりが出来てよかった。 感想：親子でおしゃべりをしながら楽しんで作っている様子を見ると親子で時間を過ごすことのツールとしてよかったのではないかな。										
【成果】 ・お菓子づくりが親子で過ごす時間確保のひとつの手段として有効だと思われる。										





5 家庭教育事業

〔2〕乳幼児学級

講座名 タイトル		すくすくひろば								
事業概要		子育て奮闘中の保護者が安心して乳幼児を預けて、講演会や調理実習など受けられる時間をつくる。								
現状・課題		ママ、パパが集まって語り合うことが少ない社会の現状がある。子育てに悩みや不安を抱えている保護者に、講座を通して集える場を提供する必要がある。								
事業目的 めざす姿		子育ては母親、父親一人のものではなく、一助として、地域の関わりの中で育くみたいと考える。公民館を居場所として集い繋ぐ場所を目指す。								
対 象		乳幼児をもつ那覇市在住・在勤・在学の保護者とその子ども								
募集人数等		定員：15組 申込：15組（うち受講決定数13組） 参加延べ組数：60組（72人） 【申込率100%・参加率115%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	子ども
	01	9月13日(日)	10:00	～	12:00	石嶺公民館ホール	13	5	8	0
	02	9月20日(土)	10:00	～	12:00	調理実習室	13	5	2	6
	03	10月25日(土)	10:00	～	12:00	石嶺公民館ホール	22	5	9	8
	04	1月27日(火)	10:00	～	12:00	調理実習室	24	3	9	12
内 容	01	こどものココロとカラダを整える大人の教室 子育てにいかす色の魔法								
	02	野菜の素材を生かした手作りお菓子								
	03	親子で楽しむ♪英語の歌と動きあそび								
	04	乳児・幼児期の栄養～離乳食講座								
講 師		① 亀山 由香（色彩療法コーチング開発者） ② 土屋 恭子（那覇市社会教育指導員OB） ③ 座波 玲子（オキナワインターナショナルスクール教諭） ④ 野原 正子（栄養士・乳幼児栄養コンサルタント）								
【受講生の様子・感想】		・色について、集中する色、落ち着く色を教えてもらったので子育てに活用したい。 ・英語に触れさせる良い機会になり、親子でリズムを取りながら楽しく学べた。家で活用していきたい。 ・調理実習は、子供を預けてゆっくり学ぶことができた。定期的な開催をお願いしたい。								
【成果】		・子育て奮闘中の保護者が子供を預けて親同士、子育ての悩みや不安を話し合える機会になり仲間づくりに繋がられた。 ・子育て支援事業として定期的開催が望まれる。 ・課題として、申込は定員に達したが、子どもの体調不良などでキャンセルがあり、当日参加人数が減ってしまった。								
		  								

6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

講座名 タイトル		フェルトを使った作品づくり								
事業概要		こどもの居場所として、夏休み企画ものづくりを楽しもうと、色とりどりのフェルトを使って、オリジナルのフェルトかざりを作る。								
現状・課題		スマホやゲーム機など個人の遊びが多い中で、友達同士で会話を楽しんだり、仲間づくりなどが厳しい現状がある。								
事業目的 めざす姿		作品が完成するまでの集中力、作品が出来た時の達成感を感じたり、工作の魅力を楽しんでもらう機会にするとともに、子どもたち同士会話をしながら、楽しく交流して仲間づくりに繋げる。								
対 象		那覇市在住・在学の小学生								
募集人数等		定員：30人 申込：30人（うち受講決定数30人） 参加延べ人数：40人 【申込率100%・参加率133%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	子ども
	01	7月31日(木)	13:00	～	16:00	石嶺公民館第1・2学習室	40	2	8	30
内容	01	お手本を参考に自由にアレンジし、自分だけのフェルトかざりを作成する。								
講 師		鶴屋 公子（にこにこクラブ）（石嶺公民館サークル）								
【受講生の様子・感想】 ・受講生の様子として、事前に作品のキット（一人一人）が準備されていたこともあり、時間内で作品が仕上がり、子どもたちは喜んでいた。 ・参加者は、低学年が多かったので保護者も一緒に作品づくりを楽しんでいた。										
【成果】 ・子どもたちは、会話を楽しみながら、作品を完成させた。学年をこえて交流を深めることで、新しい友達ができたりと仲間づくりに繋がった。保護者の参加也多かったので同世代、親同士の交流にもなり良かった。										





6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

講座名 タイトル		夏休み子ども教室～子どもダンスひろば～								
事業概要		世界中の音楽を聴きながら、ダンスの楽しみ方を学ぶ。また、ダンスに苦手意識を持つ子どもでも、楽しむことができる「子どもズンバ」を一緒に体験する。								
現状・課題		現代社会において、大人に限らず子どもたちもデジタル機器の長時間使用により、運動をする時間が現象しつつある。夏休みの期間に、子どもたちの健康的な生活を支援するため、身体を動かす時間を確保する。								
事業目的 めざす姿		ダンスを通して運動神経や身体機能の向上を目指す。また、ダンスを初めて踊る子ども達や、苦手意識をもつ子ども達が、楽しい時間を共有できるよう支援する。								
対 象		那覇市在住・在学の小学生								
募集人数等		定員：20人 申込：24人（うち受講決定数24人） 参加延べ人数：28人 【申込率120%・参加率58%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	
	01	8月8日(金)	10:00	～	12:00	石嶺公民館	15	5	10	
	02	8月15日(金)	10:00	～	12:00	石嶺公民館	13	3	10	
内容	01 ～ 02	①準備運動 ②音楽に合わせてダンスを踊る ③世界のダンスの歴史などを学習する ④クールダウン								
講 師		崎原 希美（ダンスフィットネスインストラクター）								
【受講生の様子・感想】 ・受講生の声・様子 ※ヒップホップの説明がわかりやすく、恥ずかしがらずに大きく動いて楽しくできた。 ※ダンスが楽しかったので、またやりたいです。 ・アンケート結果（満足度）85.7%										
【成果】 ・ダンスを通し、身体を動かす楽しさを共有できたと思う。 ・オンラインでの広報により、定員より多くの方の応募があった。 ・体調不良の子が多かったため、出席率は若干少なくなった。 ・初めてダンスを踊るといふ子ども達がほとんどで、ダンスを体験したことがとても楽しかったというアンケート回答があったことで、子どもの居場所に一步近づいたと思った。 ・ダンスを今後も続けてみたいという意見もあった。										







6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

講座名 タイトル		夏休み子ども教室～子ども絵画のひろば～								
事業概要		プロの絵画の先生から絵について学習し、無限大の想像力を持つ子どもたちが、自分だけの絵を描くための時間とする。								
現状・課題		情緒の発達の著しい児童期に、絵画に取り組むことで、想像力を刺激し表現力を向上させることができる。								
事業目的 めざす姿		子どもたちの感性を高め、作品づくりの喜びと達成感を感じる機会とする。								
対 象		那覇市在住・在学の小学生（低学年は保護者同伴）								
募集人数等		定員：15人 申込：15人（うち受講決定数15人） 参加延べ人数：15人 【申込率100%・参加率100%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	
	01	7月29日(火)	9:00	～	12:00	石嶺公民館	15	2	13	
内容	01	①えんぴつで下書きをする。 ②えんぴつで描いた下書きを墨汁でなぞる。 ③絵の具で色を塗る。								
講 師	池宮城 友子（絵画講師）									
【受講生の様子・感想】 ・受講生の声 ※色々な絵の描き方を知ったので、使っていきたい。 ※絵の具で塗るところが難しかった。 ・アンケート結果（満足度）93.3%										
【成果】 ・子ども達が自由に絵を描くことで、想像力を活かし自身の感性を高めることができたと思う。 ・なは市民の友への掲載により、先着順の定員がすぐ埋まった。 ・自由な発想で描いた子ども達の絵は、個性豊かで迫力ある仕上がりとなった。 ・もっと描きたい、講師の助言がとても勉強になったという声があった。										







6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

講座名 タイトル		夏休みニュースポーツ石嶺教室								
事業概要		夏休みに企画。年齢や体力に関わらず、誰にでも気軽に楽しめるニュースポーツを体験してもらう。市内の小学生たちと、児童デイサービスの子どもたちが一緒に楽しめる、交流を深める機会をつくる。								
現状・課題		石嶺地域の特徴として多くの福祉施設があるが、例えば、児童デイサービスに通う子供たちが、公民館を利用して過ごすことがない現状がある。								
事業目的 めざす姿		福祉施設と公民館が連携した取り組みとして児童デイサービスの子どもたちを招待し、市内の小学生と一緒に「ニュースポーツ」を楽しみ交流を深める機会とする。								
対 象		那覇市在住・在学の小学生								
募集人数等		定員：30人 申込：25人（うち受講決定数25人） 参加延べ人数：25人 【申込率83%・参加率100%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	子ども
	01	8月14日(木)	9:00	～	12:00	石嶺公民館ホール	25	2	3	20
内容	01	輪投げ、ラダーゲッター、スカットボール、風船バレー、釣りゲーム								
講 師		太田 敏勝・兼次 政福・末吉 雪乃 （那覇市スポーツ推進委員）								
【受講生の様子・感想】										
・同じ場所で夢中になってずっとチャレンジしている子どもたちの姿に感動した。 ・児童デイサービスの子どもたちは自由に動いて、小学生たちと会話を楽しみ、一緒に楽しんでいたのが良かった。										
【成果】										
・目標とした、福祉施設、児童デイサービスの子どもたちと小学生たちの交流の場になった。 ・舞台があることがわかり、「子どもたちの発表会などの利用を考えている」と引率の先生からの言葉があった。福祉施設と連携した事業への取り組みが期待できる。										





6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

講座名 タイトル		公民館職員とのふれあい広場								
事業概要		「公民館でお仕事をしている人はどんな人がいるの？」気軽に公民館を利用してもらうきっかけづくりとして、公民館職員とのふれあいの場を開設する。そこでは、公民館職員がちょっとだけ得意な、読み聞かせやダンス、歌を一緒に楽しみながら交流を深める時間を共有する。								
現状・課題		公民館は地域住民が「つどい・まなび・むすぶ」ための教育施設であるが、公民館はどのような人が利用し、またどのようなことをしているのか、知らないという人が多い現状がある。								
事業目的 めざす姿		公民館職員と子どもたちとのふれあいの場を通し、公民館を身近に感じてもらうことを目指す。								
対 象		那覇市在住・在学の小学生								
募集人数等		定員：20人 申込：24人（うち受講決定数24人） 参加延べ人数：42人 【申込率120%・参加率58%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	
	01	7月30日(水)	10:00	～	11:30	石嶺公民館	33	18	15	
	02	7月31日(木)	10:00	～	11:30	石嶺公民館	6	1	5	
	03	8月1日(金)	10:00	～	11:30	石嶺公民館	3	1	2	
内容	01	読み聞かせと人形劇								
	02	ダンス								
	03	歌								
講 師		石嶺公民館職員								
【受講生の様子・感想】 アンケートを取っていないため満足度等の集計はできないが、多くの子どもたちに来館してもらい、職員と「石嶺図書館読み聞かせボランティアの会」のみなさんによる読み聞かせや人形劇、体を動かして踊ったりと、楽しい時間を共有できた。										
【成果】 地域子ども達が大勢参加し、公民館職員のことを知ってもらうきっかけが作れたと思う。 歌の回は人数が少なく、コミュニケーションをとる時間とし、お話の回となった。										





6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

講座名 タイトル		防災講座 「炊き出し体験」								
事業概要		災害に備えて地域団体と連携し炊き出し体験を行うことで、防災意識を高めるとともに、地域の防災力向上を目指す。災害時にリーダーとなる人材、ボランティアの育成に繋げる。								
現状・課題		高齢者や福祉施設が多い地域なので、災害時にリーダーとなる人材の育成が必要と考える。								
事業目的 めざす姿		地域の機関、団体、若い世代への参加を呼びかけて、炊き出し体験、防災講座を開催することで防災意識を高め地域の防災力向上を目指す。地域リーダーとなる人材や若い世代の防災ボランティアの育成に繋げる。								
対 象		石嶺地域の住民								
募集人数等		定員：30人 申込：70人（うち受講決定数70人） 参加延べ人数：70人 【申込率233%・参加率100%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	子ども
	01	11月23日(日)	9:00	～	12:00	石嶺児童館	70	22	30	18
内容	01	①持ち寄りの材料やJA提供など（お米、野菜、缶詰など） ②野菜は包丁を使わず手でちぎる ③だし汁に白米を入れ煮込む ④草刈り作業の方々と一緒にぼろぼろじゅうしーを食べながら防災講和を聞く								
講 師		玉那覇 善秀（石嶺小学校区まちづくり協議会 会長） 土屋 恭子（那覇市社会教育指導員 OB会）								
【受講生の様子・感想】 炊出し体験：講師の土屋さん指導の元、災害時を想定して、JA農協提供の野菜、住民の持ち寄り野菜などを手でちぎったり、材料を煮込み、情報交換をしながら、「ぼろぼろじゅうしー」を作った。草刈り作業の方々と一緒に食べながら、石嶺小まち協会長玉那覇さんの防災講和を聞き防災知識を高める地域防災講座となった。										
【成果】 炊出し体験の参加者は、民生委員、北翔会、石嶺婦人会、石嶺まちづくり協議会、石嶺こども園の職員、オリブ山病院の職員など、各機関の代表の方が炊き出しを体験。防災組織づくりのきっかけになることを期待したい。新成人の若い世代の参加もあり、次世代が地域参加、地域と交流する場となり、防災ボランティアの育成に繋がると良い。										







6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

講座名 タイトル		新春もちつき交流会								
事業概要		新しい年を迎え親子、地域で楽しく交流するとともに、参加者の健康を祈願しながらもちつきを行う。								
現状・課題		地域で活動されている団体との交流を深めるため、石嶺小学校区まちづくり協議会、石嶺中学校区はたちの記念式典実行委員会、那覇市社旗教育指導員OB会、石嶺町伝統エイサー会を本イベントを通し、より良い関係を深める。								
事業目的 めざす姿		もちつきを通して地域との交流を図る。								
対 象		石嶺地域在住の子どもたち及び保護者ほか								
募集人数等		参加延べ人数：258人								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	子ども
	01	1月10日(土)	10:00	～	10:10	石嶺公民館 ホール	258	86	86	86
	02	1月10日(土)	10:10	～	10:20	石嶺公民館 ホール	〃	〃	〃	〃
	03	1月10日(土)	10:20	～	11:30	石嶺公民館 ホール	〃	〃	〃	〃
内容	01	オープニング(石嶺町伝統エイサー会)								
	02	開会のあいさつ(石嶺中学校区はたちの記念式典実行委員会)								
	03	もちつき交流会、閉会のあいさつ(司会)								
講 師		那覇市社会教育指導員OB会、国吉盛夫、原國政良、嘉手川航汰、屋我嗣壽男								
【受講生の様子・感想】 - つきたてのお餅が美味しかったです。 - 来年また実施して欲しい。 - 毎年楽しみにしています。										
【成果】 毎年の恒例行事ということもあり、多くの石嶺地域の方が参加し、石嶺中学校区はたちの記念式典実行委員会の方々もボランティアでお手伝いに来てくれたためとても盛り上がり、子ども達も餅つきを楽しみながら最後はつきたてのお餅を美味しそうに食べていた。										





6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

講座名 タイトル		薬物乱用防止講演会								
事業概要		「若年層における薬物乱用が拡大し深刻な社会問題となっている。薬物依存について専門家を招き、沖縄県の現状を知り、地域で子どもたちを見守る薬物乱用防止に向けた地域活動へ繋げる。								
現状・課題		ニュースなどで、若年層における薬物乱用が拡大し深刻な社会問題となっている。薬物依存について専門家を招き、沖縄県の現状を知り、薬物について知識を学び、情報を共有する勉強会を持つことが重要と考える。								
事業目的 めざす姿		講座を通して、沖縄県の現状を知り、地域で子どもたちを見守る、薬物乱用防止に向けた地域活動へ繋げる。								
対 象		石嶺中学校区青少協、石嶺地域の小・中学の先生・PTA、民生委員他								
募集人数等		定員：30人 申込：48人（うち受講決定数48人） 参加延べ人数：48人 【申込率160%・参加率100%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	子ども
	01	1月16日(金)	19:00	～	20:00	石嶺公民館ホール	48	31	17	0
内容	01	①石嶺中学校区青少協夜間巡視の前に勉強会を設けた。 ②地域の関係機関へ参加を呼びかけて薬物乱用防止講演会を聞く。								
講 師	松本 靖広（九州厚生局沖縄麻薬取締支所 調査総務室長）									
【受講生の様子・感想】										
・中学生、高校生を持つ親としてとても勉強になった。 ・今とても知りたいと思っていた内容なので公民館で学べてよかった。 ・地域で子どもたちを見守ることの地域活動へ参加していきたいと思っていたので良い機会になった。										
【成果】										
地域会議で「危険ドラッグについて勉強会を持ちたい」との声があり、公民館で「薬物乱用防止講演会」を開催。参加人数を超えるたくさんの人が来てくれて、関心の高さが伺えた。巡視活動への新規参加者の確保などへ繋がった。講座を通して、知識や現状を学び、情報を共有することにより、地域で子どもたちを見守り、防止に向けての活動に繋げていく一助になったのではないかな。										







6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

講座名 タイトル		防災講座「防災まちあるき」と「防災と気候変動」								
事業概要		石嶺中学校家庭科の校外学習に合わせて「地域防災講座」を開催。1校時は実際に地域を歩き地域の災害のリスクを知る。講師に地域の人材を活用。2校時は「防災と気候変動」専門家を招き環境講話を取り入れた。								
現状・課題		①地域の豪雨被害はなぜ起きたのか？豪雨被害の場所を確認し、地域の災害のリスクを学ぶ。 ②要因の1つとして考えられる気候変動を絡めた環境講話を取り入れる。								
事業目的 めざす姿		ビジョンの1つである「学校と地域の連携」に重点を置き、石嶺中学校の家庭科校外学習を活用。講師に地域の人材を活かし、まちあるきで災害のリスクを知り備える。環境講話を取り入れることでさらに災害のない社会の実現を目指す。								
対 象		石嶺中学校3年生（171名）・先生3人・地域の方2人								
募集人数等		参加延べ人数：176人								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	子ども
	01	1月22日(水)	10:00	～	13:00	公民館ホールと近隣	67	2	3	62
	02	1月23日(木)	10:00	～	13:00	公民館ホールと近隣	66	2	3	61
	03	1月30日(木)	10:00	～	13:00	公民館ホールと近隣	43	2	3	38
内容	01 ～ 03	1校時 体験「防災まちあるき」 2校時 講話「防災と気候変動」								
講 師	防災まちあるき：金城 真徳（北翔会顧問） 防災と気候変動：若林 真也（沖縄県公衆衛生協会）（地球温暖化防止活動推進センター）									
【受講生の様子・感想】										
・受講生の声：防災のために地域を知ることが大切だと思った。 ・私達にできることを考えていこうと思った。 ・アンケート結果（満足度）100％										
【成果】										
・まちあるきでは、実際に豪雨被害の場所を確認し災害のリスクを知り、安全に避難できる情報を学べた。 ・環境講話では、環境に配慮した生活を送ることで災害の少ない社会の実現を目指すことになるのではないかと。 ・講座を通して生徒たちが自分たちにできることを考えるきっかけになり、目標とした「防災ジュニアボランティア」の育成に繋がることが期待できる。										





6 その他の事業

〔2〕地域学習支援講師派遣事業

年間の派遣件数：1 件

派遣先：下表のとおり

1	申 請 団 体	家譜サークル
	事 業 名	講師を招聘し学習する事業
	学 習 内 容	戦争・日本、そして沖縄
	開 催 日 時	令和7年8月4日（月） 14：30～16：30
	開 催 場 所	石嶺公民館 ホール
	講 師 名	来間 泰男
	参 加 人 数	58人
	学 習 報 告 (成果、反省等)	日清・日露戦争と第一次世界大戦、アジア・太平洋戦争と日本・沖縄との関係について、歴史資料等から学んだ。

7 公民館まつり

講座名 タイトル		第30回 石嶺公民館まつり								
事業概要		今年度の定期利用団体の活動の成果発表として、那覇市石嶺公民館利用団体連絡会主催の下、公民館まつりを開催する。								
現状・課題		毎年、地域・利用団体の協力の下、軽食ブース等多数の企画を実施し、地域のまつりとして根強い人気がある。今年度は利用団体の活動成果をだれでも気軽に観覧できるように工夫する。								
事業目的 めざす姿		子どもから高齢者まで幅広い年齢層の交流を図る。 利用団体や地域の方々にボランティア協力を依頼し、運営を行う。 来館者に対して、公民館の場所や雰囲気を知ってもらうキッカケを作る。								
対 象		どなたでも参加可								
募集人数等		参加延べ人数：1564人								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	子ども
	01	2月21日(土)	10:00	～	20:00	石嶺公民館	626	-	-	-
	02	2月22日(日)	10:00	～	15:00	石嶺公民館	938	-	-	-
内容	01 ～ 02	舞台発表・展示・軽食ブース・社交ダンス等								
【参加者の様子・感想】										
- 子どもから高齢者まで、地域の方々を中心にたくさんの参加があった。 - 軽食ブースでも定期利用団体による小規模な舞台発表を行ったことで様々な活動を気軽に見ることができて楽しかったという声があった。 - 定期利用団体との事前調整を綿密に行なったことで「各企画の流れが非常に良かった」という声があった。										
【成果】										
軽食ブースでの小規模舞台発表がかなり好評だったので今後も継続して実施していきたい。また定期利用団体からもスムーズな進行が好評だったので今後も余裕を持った調整を行いたい。										





